



2019年1月25日

各 位

東京都千代田区外神田四丁目14番1号
株式会社 アクセル
代表取締役社長 松浦 一 教
(コード番号 6730 東証第1部)
問い合わせ先
執行役員 管理グループ 植野 悦 匡
ゼネラルマネージャー
電 話 03-5298-1670

特別損失（投資有価証券評価損）の計上及び業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年3月期第3四半期において、下記の通り特別損失（投資有価証券評価損）を計上しましたのでお知らせいたします。また、特別損失の計上に加え、最近の業績の動向等を踏まえ、2018年4月25日に公表しました2019年3月期通期の業績予想を修正しましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失（投資有価証券評価損）の計上について

当社が保有する投資有価証券のうち、簿価に比べて実質価額が著しく下落したものについて保守的な評価を実施した結果、減損処理による投資有価証券評価損として234百万円を特別損失に計上いたしました。なお、四半期会計期間末における投資有価証券の減損処理にあたっては、四半期洗替え法を採用しているため、2019年3月期の期末日の実質価額によっては、投資有価証券評価損の計上額が変動する場合があります。

2. 業績予想の修正について

2019年3月期通期業績予想数値の修正（2018年4月1日～2019年3月31日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 当 たり 当 期 純 利 益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,300	△1,450	△1,450	△1,050	△93.85
今回修正予想 (B)	5,000	△1,700	△1,700	△2,000	△178.76
増 減 額 (B - A)	△1,300	△250	△250	△950	-
増 減 率 (%)	△20.6	-	-	-	-
(ご参考) 前期実績	8,477	156	164	80	7.18

修正の理由

当社の主力市場であるパチンコ・パチスロ機市場は、レジャーの多様化や依存症対策を目的として改正された「風適法施行規則等」の影響等により、遊技ホールの新台購入意欲が低迷するなど厳しい市場環境が続いております。また、厳しい市場環境を背景にパチンコ・パチスロ機メーカーのコスト削減意識は高く、当社製品を含む構成部材のリユース（再利用）が一層浸透するなど、当社を取り巻く事業環境は厳しさが増しております。

このような環境の中、主力製品であるパチンコ・パチスロ機向けグラフィックス LSI につきましては、期初における市場在庫の調整に想定以上の期間を要したことに加え、リユース比率が想定以上に上昇したこと等により、当初計画の 43 万個に対し 11 万個減となる約 32 万個の販売にとどまる見通しとなりました。

また、同市場向けのその他製品につきましては、LED ドライバ LSI は当初計画を上回る販売見込みとなりましたが、メモリモジュール製品はリユース比率の上昇に加え、新規顧客の採用時期の先送り等により、当初計画を大幅に下回る見直しになりました。このような状況を総合的に鑑み、売上高につきましては当初計画比 20.6% 減となる 5,000 百万円（同 1,300 百万円減）に修正いたしました。なお、メモリモジュール製品の採用先送りにつきましては、次年度における採用が内定しております。

売上総利益につきましては、売上高の減収に伴い当初計画比 18.6% 減の 1,750 百万円（同 400 百万円減）に、販売費及び一般管理費につきましては、経費全般の削減に加え、プロジェクト収支管理の強化により研究開発費の見直しを実施したこと等により、当初計画比 4.2% 減となる 3,450 百万円（同 150 百万円減）に見直しました。以上により、営業損失 1,700 百万円（同 250 百万円減）、経常損失 1,700 百万円（同 250 百万円減）に修正いたしました。また、上記の投資有価証券評価損の計上に加え、繰延税金資産の取り崩しによる税金費用の負担増（当初計画の当期純利益に対して約 500 百万円のマイナス影響）を見込み、当期純損失は 2,000 百万円（同 950 百万円減）に修正いたしました。

当期におきましては上場後初の赤字決算を見込むなど、株主の皆さまにご心配をおかけしており、心よりお詫び申し上げます。当社の主力市場であるパチンコ・パチスロ機市場向け事業におきましては、近年、負担となっていた次世代主力製品に係る研究開発費の計上が、当期において概ね収束しており、次期以降についてその開発コスト負担が低減する見通しであることから、業績は改善傾向を示すものと考えております。また、当社が新規事業と位置づけて注力しておりますミドルウェア、暗号技術（セキュリティ、ブロックチェーン）、機械学習の 3 領域における早期の事業化に加え、低迷するパチンコ・パチスロ機市場においても安定収益を確保するためのビジネスモデルの再構築を進めることにより、早期の業績回復、さらには持続的な成長軌道への回帰に向けて全社一丸となって全力を尽くす所存であります。今後とも株主の皆さまをはじめとする関係各位のご支援を賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

（注）上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以上